

書評 「Measuring Birds-Vögel Vermessen」

茂田良光 (公益財団法人山階鳥類研究所)*

Siegfried Eck, Jürgen Fiebig, Wolfgang Fiedler, Iris Heynen, Bernd Nicolai, Till Töpfer,
Renate van den Elzen, Raffael Winkler & Friederike Woog 著, Till Töpfer & Iris Heynen 編著
Deutsche Ornithologen-Gesellschaft, Wilhelmshaven (ドイツ) 2011年9月
118頁. €24.90, ISBN : 978-3-923757-05-3



2011年9月にドイツで発行された鳥類の測定方法の解説書。英語とドイツ語の併記で、野外での調査に便利なように防水紙に印刷され、スパイラル製本である。多くの測定方法が25のイラストとともに解説されている。

本書の構成は、著者のグループによる序文に続き、前半は測定の意義、測定の正確さと信頼限界、生きた鳥と死んだ鳥の測定値の比較、初列風切・次列風切のナンバリング、尾羽、翼式、頭骨の含気化 (Fig 3)、体重、測定器具などの解説であり、後半の pp. 61–103 がイラストと測定方法の詳しい解説である。脂肪量指標は Kaiser (1993) による 8 段階 (Fig 25) を採用している。巻末に引用文献 (pp. 104–108) と索引 (pp. 110–116) がある。

頭骨の含気化の図 (p. 44 Fig 3) は 1–7 の 7 段階に分けられ、主要パターンのほか、ゴジュウカラ、ツグミ科の 3 例が図示されている。また、8 段階の脂肪量指標 (pp. 102–103) は、香港などでの私の経験では慣れるまでは図を見ながらでない指標を決めるのが簡単ではない。日本で使われている『鳥類標識マニュアル、改訂第11版 (山階鳥類研究所鳥類標識センター 2009)』と異なった頭骨の含気化と脂肪量指標は、欧米では本書の方式がよく使われているようなので、文献を参照するときは注意が必要である。

鳥類の測定は、研究の歴史からは、死んだ鳥や標本でのみ行われてきた。鳥類標識調査において生きた鳥で測定ほかの詳細な形態の研究が行われるようになったのは鳥類の研究史上は新しく、主に1950年代以後であり、1969年になってもイギリス鳥学会の Ibis 誌上でのスペインにおけるアフリカコシジロアマツバメ *Apus caffer* とヒメアマツバメの論争で、Spencer, Hudson & Mead (1969) は「……現在の熟練した標識調査者 (バンダー) は、博物館の分類学者によって採集された鳥と同じように、生きた鳥によって、いろいろなことを正確に詳しく調べている。……」と述べている。これは、「霞網で捕獲され調査後、放鳥された生きた鳥の調査は観察記録以上のものではない」という Harwin (1969) の主張に対する反論である。このアフリカコシジロアマツバメとヒメアマツバメの件については安部

(1970ab) に紹介されているので、一読をお勧めしたい。

翼や尾を開いて細かく調べることは標本では難しい。さらに、裸出部の色や全長、翼開長、体重の正確な測定は可能ではない。また、換羽についても標本から細かく調べることは簡単ではない。これらの調査は、生きた鳥を捕獲して調べることができるバンダーであればできることである。現在、バンダーの中で捕獲した鳥の測定を細かくしている人はあまり多くないが、せっかくバンダーに与えられた機会なので、もっと測定することと測定値の活用を奨励したい。

以前、図鑑やフィールドガイドに掲載されている全長、翼開長の値が正しくないものがあり、出典が書かれていないものが多いのと体重については載っていないことが多いのでバンダーに呼びかけ、全長、翼開長、体重の測定値を集めることを提唱し、記入用紙を配布し協力者に測定値を記入して返送してもらったことがあるが、今後もこれらの測定値の収集は、日本の鳥類をより正確に知るために続けていきたい。とくに体重については、同種であっても分布や時期、性・齢により大きく変動するものであり、測定者による誤差が少ないので、これからも積極的に続けていくべきだと思う。

引用文献

- 安部直哉 1970a. ヒメアマツバメのこと (上). 野鳥 35(2): 64-72.
安部直哉 1970b. ヒメアマツバメのこと (下). 野鳥 35(4): 183-186.
Harwin, R. M. 1969. The collecting of rare birds. *Ibis* 111(1): 113.
Kaiser, A. 1993. A new multi-category classification of subcutaneous fat deposits of songbirds. *Journal of Field Ornithology* 64(2): 246-255.
Spencer, R., Hudson, R. & Mead, C. J. 1969. The collecting of rare birds. *Ibis* 111(2): 258.
山階鳥類研究所鳥類標識センター 2009. 鳥類標識マニュアル (改訂第11版) 2008年度版. 山階鳥類研究所, 我孫子.